



一級土木施工管理技士受験にあたって

協会誌編集事務局

はじめに

来年から変わる一級土木施工技士資格

前号で予告したように、これから数回にわたって一級土木施工管理技士について受験ゼミナールを開講します。本資格は主に施工会社において最も必要とされる資格の一つですが、来年からの検定制度の見直しが予定されています。このため今年はこれまでのしくみでの最後の年となるようです。来年からどのようなかはまだわかりませんが、今回はこれまでのしくみについて、まずは受験資格、スケジュール及び試験対策を実施するために不可欠な試験の内容等について報告します。

1. 一級土木管理技士の必要性

一級土木施工管理技士は、建設工事の請負金額が4000万円以上である場合、現場で施工の技術上の管理をつかさどるため専任の配置を義務付けられる“監理技術者”となるための資格であり、また、入札時の経営事項審査においてもその有資格者は加点されるなど、土木技術者としての本人にとっても、会社にとっても重要な資格です。

2. 受験資格

学歴による学科・実地試験受験資格は表①に示す通り

表① 一級土木施工管理技士の受験資格（学歴）

| 学歴 | 実務経験 | |
|---|--------|------------|
| | 指定学科卒業 | 指定学科以外の卒業後 |
| 大学 専門学校「高度専門士」 | 3年以上 | 4年6ヶ月以上 |
| 短期大学 高等専門学校 専門学校「専門士」 | 5年以上 | 7年6ヶ月以上 |
| 高等学校 中等教育学校 専門学校（「高度専門士」「専門士」を除く） | 10年以上 | 11年6ヶ月以上 |
| その他 | 15年以上 | |

*上記実務経験年数のうち、1年以上の指導監督の実務経験年数が含まれていることが必要です。

です。その他、2級土木施工監理技術者合格者、専任の主任施術社の経験が一年以上ある者などの受験資格が決められているので、試験実施機関である全国建設研修センターのHP等でご確認ください。

3. スケジュール

- (1) 申込用紙の販売 令和2年2月21日より
- (2) 申し込み受付期間
令和2年3月17日から3月31日
- (3) 試験日及び合格発表日
 - 1次学科試験
試験日：令和2年7月5日（日）
合格発表日：令和2年8月20日（木）
 - 2次実地試験
試験日：令和2年10月4日（日）
合格発表日：令和3年1月15日（金）

4. 試験地

札幌、釧路、青森、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、岡山、広島、高松、福岡、那覇

5. 試験内容

今年は学科試験及び実地試験という区分は従来どおりで、また、出題形式もこれまでの形を踏襲しています。各試験の科目とその内容は表②、表③に示す通りです。

土木施工管理技士の大きな特徴は選択問題があることで、自分が解けそうな問題を選んで回答することができます。また、実地試験は実地と言っても実技があるわけではなく全て記述式ですので、文章にまとめる力が問われます。これらに対する勉強法等については次回以降で順次説明等していきます。

表② 学科試験の試験科目とその内容

| 試験時間等 | | 分野 | 出題数 (問) | 必要回答数 (問) | 記事 |
|-------|--------|-------|------------|--------------|------------------------|
| 午前の部 | 2時間30分 | 土木一般 | 15 | 12 | 四肢択一 式のマーク シート方式 |
| | | 専門土木 | 34 | 10 | |
| | | 法規 | 12 | 8 | |
| 午後の部 | 2時間 | 共通工学 | 5 | 5 | |
| | | 施工管理法 | 30 | 30 | |
| 合計 | | | 96 | 65 | |

6. その他

本試験の合格ラインは学科試験及び実地試験とも60%以上と言われており、合格定員が決まっているものではありません。このため同じく受験する者で有効な情報を相互に提供しあって、みんなで合格を目指していきましょう。

また本試験の合格率はここ2、3年、学科試験が50%強、実地試験は40%弱で、最終的には20%程度となっており、5人に1人しか合格しない難関であることから、しっかり準備して取り組んでいく必要があります。

おわりに

今回の新受験ゼミナールでは、一級土木施工管理技士の受験を考えている人に不可欠な情報を提供いたしました。次回から受験スケジュールに合わせて10月頃まで、長年鉄道関係会社の受験指導をしてこられた専門家による合格の勘所指導や合格者の勉強法の紹介等、受験される皆様に役に立つ記事を掲載していきます。

なお、会員（個人会員）の方に限り、専門家による実地試験指導研修会開催なども計画しておりますので、楽しみにしててください。

（参考）来年からの検定制度の見直しについて

本資格は建設業法第27条に規定されていますが、昨今の建設業の担い手としての重要性や必要な資格需給面などを踏まえ一昨年6月改正され、施工管理上の技術レベルを下落させることなく、より多くの施工管理を行う有資格者を輩出することを狙い、来年から以下のような方向性で検定制度の見直しについての準備が進められています。

これまでは学科試験の合格後実地試験を受け、両方も合格すれば技士の称号が与えられましたが、今回の見直しでは①監理技術者を補佐する役職として「技士補」を創設し、学科試験を合格することにより同資格が授与されます。この技士補の配置によりこれまで現場で専任配置が義務付けられていた監理技術者が現場を兼務することが可能となりました。

これは現状の監理技術者不足への対応とともに、学科試験合格後2年間の実地試験の免除期間後は再度学科から受験する必要からも壁が高くなっていた技士が、ひとまず技士補を確定したのち、技士にチャレンジできることになりそうです。

表③ 実地試験の試験科目とその内容

| 区分 | 分野 | 主な出題項目等 | 出題数 (問) | 必要回答数 (問) | 記事 |
|------|--------|--|------------|--------------|----------------|
| 必須問題 | 施工経験記述 | 経験した土木工事についての工事の概要と、その工事の施工計画において、留意した技術的な課題と、その課題を解決するための検討内容、現場で実施した対策や処置について記述 安全管理、工程管理、品質管理等のテーマが指定される | 1 | 1 | 記述 |
| 選択問題 | 土木 | 土留め工、土工作業、盛土材料、排水工等 | 2 | 6 | 10問中6問選択 記述 |
| | コンクリート | コンクリートの性質、材料・配合・養生・鉄筋の加工、打継目等 | 2 | | |
| | 品質管理 | 品質管理項目、土質試験、締り管理等 | 2 | | |
| | 安全管理 | 移動式クレーン、型枠支保工の安全、法令等 | 2 | | |
| | 建設副産物当 | 建設リサイクル、騒音振動対策、法令等 | 1 | | |
| | 施工計画 | 構造物の施工手順等 | 1 | | |